

④産業部門

＜市の主な施策＞（継：現行計画に記載の取組 拡：取組内容の改善や拡大など 新：現行計画策定以降の新たな取組）

【継】風力発電関連産業の総合拠点化の推進

【継】再エネ100%電力化に向けた自家消費型の太陽光発電・蓄電池の導入支援

【継】脱炭素社会・水素社会の実現に向けた実証・PR

【継】農林水産業のスマート化の支援

【継】環境技術の普及拡大に向けた支援

【継】イノベーション創出に向けた研究開発の支援

【新】水素拠点化の推進

【新】GXの推進

45

＜取組事例＞風力発電関連産業の総合拠点化の推進

- ・響灘地区の充実した港湾インフラと広大な産業用地を活用し、風力発電関連産業の総合拠点の形成を図る「グリーンエネルギーポートひびき」事業を推進
- ・令和5年3月～、9.6MW風車25基、合計出力最大22万kWとなる洋上ウインドファームの建設工事を開始



<今後の取組内容>

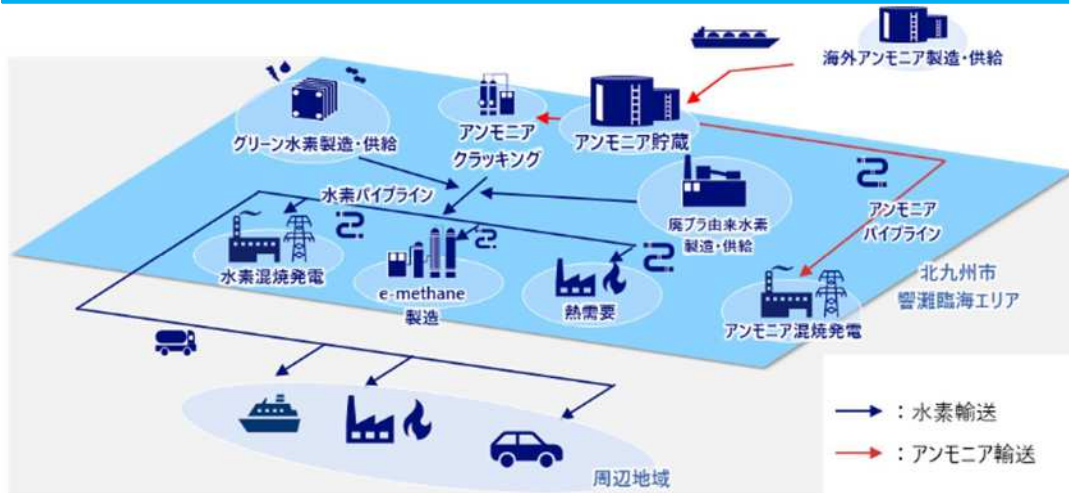
- ・「北九州響灘洋上ウインドファーム」について、本年度中の運転開始を目指す
- ・今後主流となる浮体式に対応するため、「浮体式総合拠点」の形成に向けた検討を実施

<取組事例> 響灘地区における水素拠点化

- ・令和5年5月、北九州市響灘臨海エリアを中心とした水素等サプライチェーンを構築し、多様な産業におけるカーボンニュートラル実現を目指す「福岡県水素拠点化推進協議会」を設立
- ・国の支援制度※の獲得を目指し、響灘臨海部を中心とした水素拠点の形成に向けた取組を推進

(※申請及び経営判断は、本協議会の構成企業が行う)

北九州市響灘臨海エリアを中心とした水素等サプライチェーン イメージ図



(令和6年6月3日 報道発表)水素等拠点形成に向けてサプライチェーン構築実現可能性調査を開始

<今後の取組内容>

- ・産学官の協議会において、引き続き響灘臨海部を中心とした水素拠点形成を推進し、地元企業の脱炭素化と国際競争力の強化、新たな産業集積につなげるとともに、市内外へ水素拠点化の取組を発信していく。

(※国支援制度の獲得状況により、適宜、適切な取組を検討する) 47

<取組事例> GXの推進(北九州GX推進コンソーシアム)

- ・令和5年12月、カーボンニュートラルを成長の機会と捉え、官民GX投資を呼び込むため、産学官金オール北九州で構成する「北九州GX推進コンソーシアム」を設立
- ・最先端の研究開発や産業集積の推進、ビジネススクールの開催による人材育成、専門家による無料相談・現場派遣、GX重点分野への取組に関する補助制度などを通じ、市内企業のGX推進に向けた取組を実施

産学官金オール北九州による「北九州GX推進コンソーシアム」を設立。(R5.12)



↑設立総会(令和5年12月12日)
日本製鉄、TOTO、安川電機、ゼンリン、九州電力、西部ガスなど・参加会員 約

336社

会長	北九州市長
副会長	北九州商工会議所会頭、北九州産業学術推進機構理事長
産	北九州商工会議所、北九州中小企業団体連合会 GXの知見を持つ企業、GXを推進する企業
学	北九州市立大学、九州工業大学、早稲田大学、福岡大学 北九州工業高等専門学校、地球環境戦略研究機関(IGES)
官	経済産業省、環境省、福岡県、北九州市 北九州産業学術推進機構(FAIS) 【事務局】北九州市、FAIS
金	金融機関

「グリーンとテクノロジーの掛け合わせ」

「一歩先の価値観」

北九州市の強みを生かしてGX投資を呼び込む

<今後の取組内容>

- ・地域企業のGXの取組促進に向けて、引き続き、北九州GX推進コンソーシアムの取組を展開する。
- ・令和7年4月、国は、脱炭素電力が豊富な地域への投資の呼び込みやGX型新規産業の創出等の検討を進めるためのワーキンググループを設置し、GX産業立地政策の具現化に向けた議論を開始。この動きも含めて、引き続き、官民GX投資の促進に向けて取り組んでいく。